

 箕面小だより 		箕面市立 箕面小学校 令和6年(2024年) 8・9月号
学校教育目標 めざす子ども像 めざす学校像	支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子 ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意) ○あいさつと笑顔であふれる学校 ○思いやりと優しさが感じられる学校 ○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校 ○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校	

人のためにつかう時間

校長 垣内 幸太

今年も「酷暑」という言葉がふさわしい暑さが続きました。しかし、昼間の蝉の鳴き声がいつの間にか聞こえなくなり、夜の草むらからはにぎやかな虫の鳴き声が聞こえるようになり、少しずつ季節の移り変わりを感じます。長期休み中も、保護者の皆様、地域の皆様には、子どもたちの安全、安心のためにご協力いただきましたことを感謝申し上げます。

1学期の終業式、子どもたちに次のような話をしました。

先日、校長先生は大切な人を亡くしました。昨日まで、お話ししていた人がいなくなってしまったことはとてもつらく、とても悲しかったです。そのときに考えたことがあります。「いのちってなんだろう」と。

いろいろな考え方がありますが、100歳を超えて現役のお医者さんが続けていた日野原重明さんは、「いのちとはその人に与えられた時間」だとおっしゃっています。だとすると、時間をどうつかうかはいのちをどうつかうかということになりますね。そしてそのつかい方を決めるのは自分です。自分のいのちでもある時間をみんなには大切につかってもらいたいと願っています。

また、日野原さんはこうもおっしゃっています。「時間は自分以外の誰かのためにつかったときにもっとも輝く」と。少し難しいですね。でも、この1学期だけでも、箕面小学校のみんなの輝いている場面をたくさん見せてもらいました。1年生を優しく助けてくれている姿。頑張っている仲間を励ましている姿。掃除を黙々と頑張る姿。宿泊行事で声を掛け合っている姿…。すでにみんなはだれかのためにたくさんの時間をつかっているんですね。夏休みは日頃みんなのために時間をつかってくれているおうちの人のために時間をつかえるといいですね。そして、2学期からも仲間とともにお互いのために時間をつかって、自分のいのちを輝かせていきましょう。

2学期は学習発表会、150周年記念イベント、運動会など多くの行事もあります。自分のため、仲間のために時間を使うことを経験しながら、子どもたち一人ひとりが大きく成長できる学期となるよう努めてまいります。これまで同様、皆様のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。